令和6年1月12日

大船渡湾内観測結果（No.10）

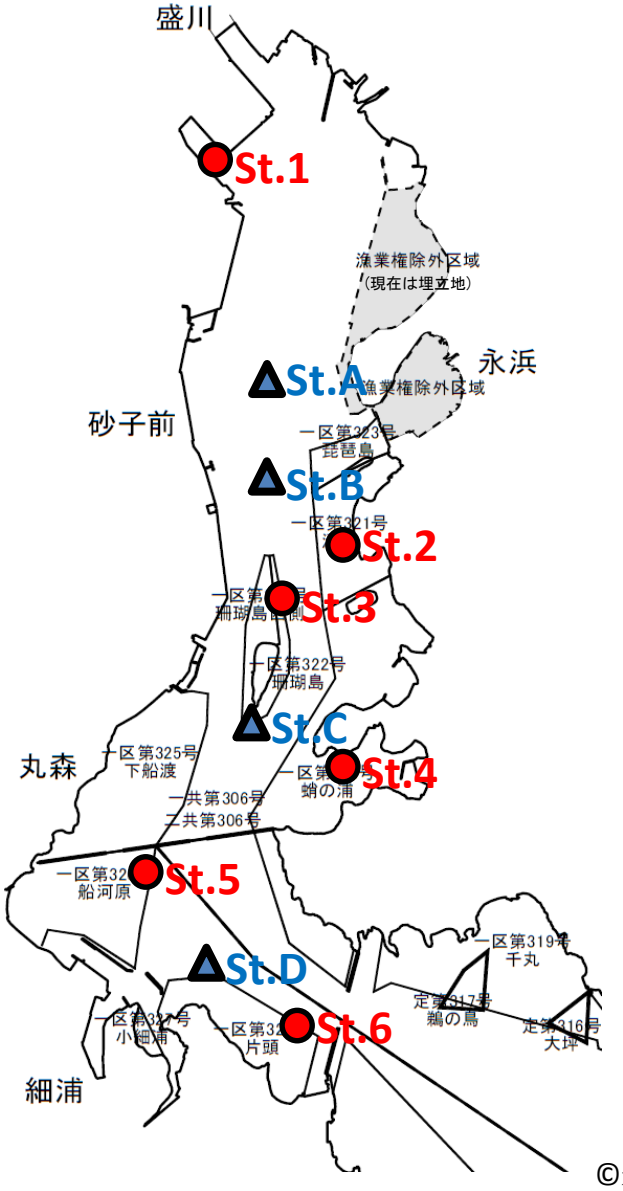
“今月の話題”
　湾内全域で水温が低下し、表層から底層までおおむね12～14℃台となったものの、過去の結果と比較すると、3～5℃程度高くなりました。

1月11日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

　湾内全域の表層から底層までの水温は、14～15℃台だった前月より低下しており、おおむね12～14℃台となっていました。
　過去の結果（2013～2022年度の平均値）では、1月の水温が9℃台であり、3～5℃程度高いという結果になりました。特に湾口側（St.6）で水温が高くなりました。
　塩分も水温と同様に湾口側で高くなりました。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和6年1月11日					
観測時刻		11:29	11:46	11:08	10:52	10:31	10:19
水深（m）		10.4	24.3	29.5	18.8	27.3	38.8
透明度（m）		9.0	16.5	13.5	17.0	15.0	14.5
水色		5	4	4	4	4	4
水温（℃）	表層	13.3	13.1	12.9	12.9	12.8	14.2
	2.5m層	13.4	13.2	12.8	12.9	12.9	14.2
	10m層	－	13.2	13.2	12.8	13.0	14.2
	15m層	－	13.2	13.2	12.8	13.0	14.1
	底層	13.4	13.2	13.5	12.8	12.9	13.7
塩分	表層	33.70	33.78	33.70	33.87	33.86	34.22
	2.5m層	33.87	33.91	33.71	33.88	33.87	34.25
	10m層	－	33.96	33.96	33.89	33.93	34.28
	15m層	－	33.97	33.97	33.91	33.95	34.27
	底層	33.93	34.00	34.09	33.91	33.98	34.22
溶存酸素飽和度(%)	表層	90.4	94.4	94.8	93.9	94.6	95.5
	2.5m層	92.6	94.2	94.5	93.8	94.6	96.4
	10m層	－	94.0	94.1	93.8	94.4	96.6
	15m層	－	93.9	93.9	93.7	93.9	96.1
	底層	91.2	93.6	93.2	93.7	92.2	97.2

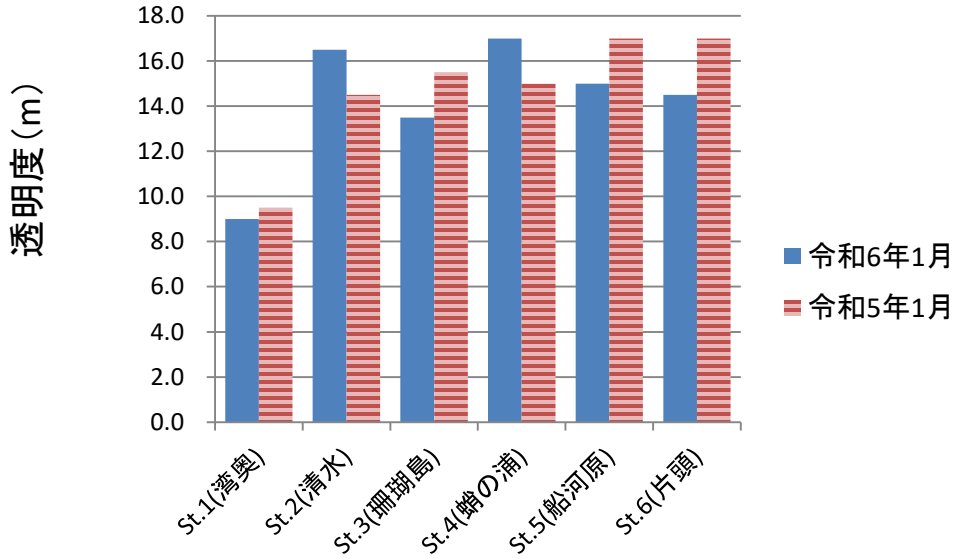


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

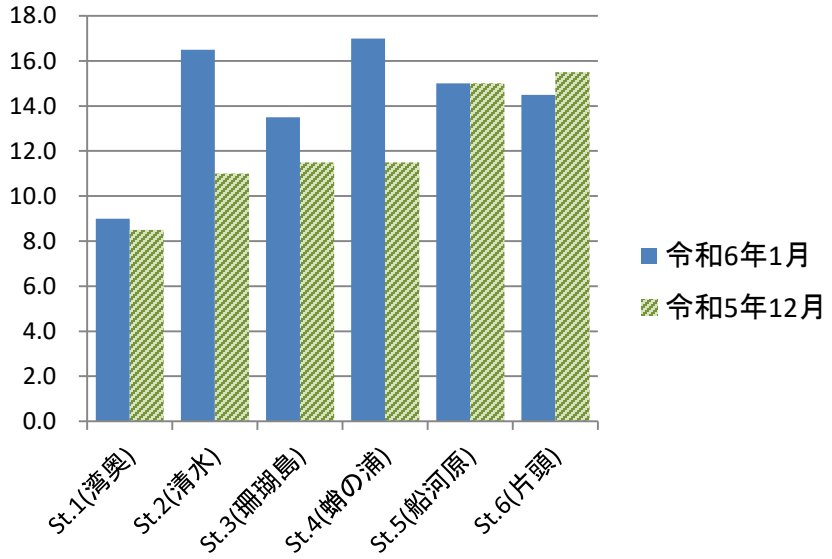
前年同月との比較



・St.1、3、5及び6で前年同月より低い

・St.2及び4で前年同月より高い

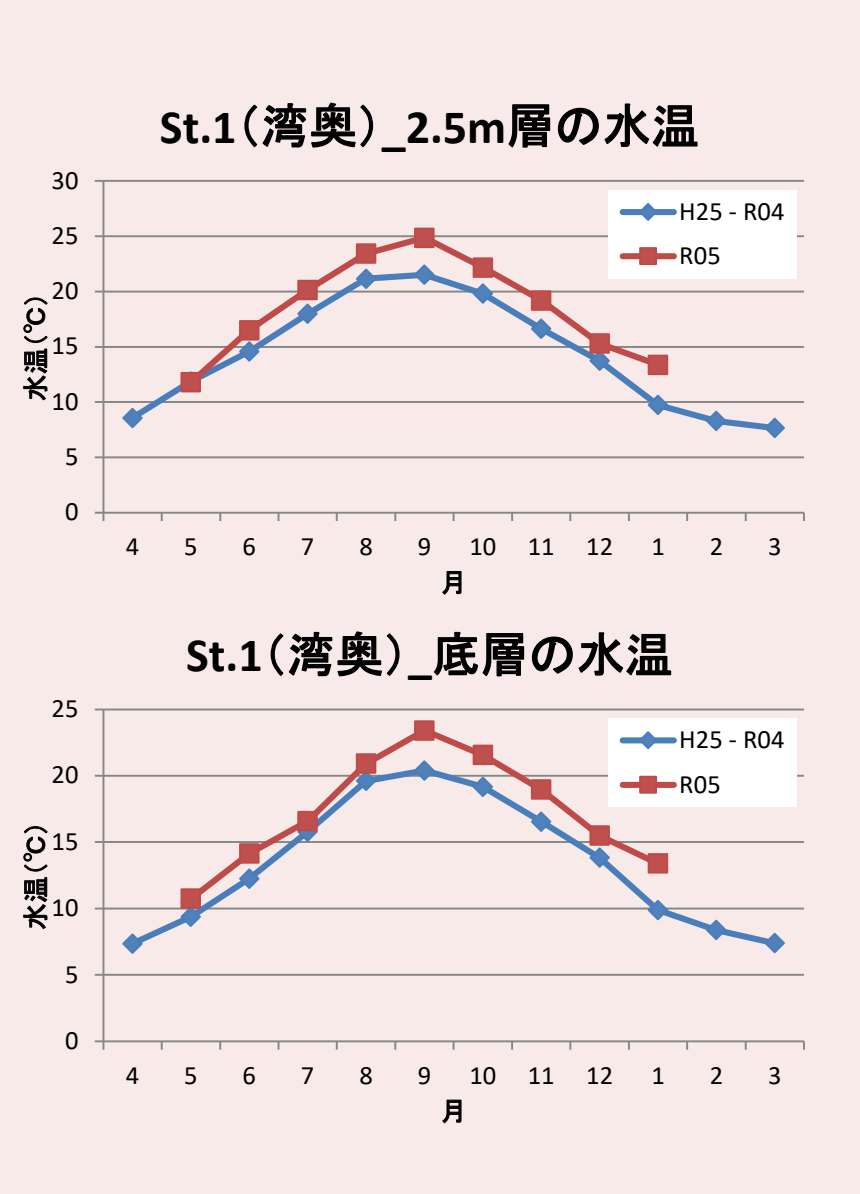
前月との比較



・St.1、5及び6で前月並み

・St.2、3及び4で前月より高い

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



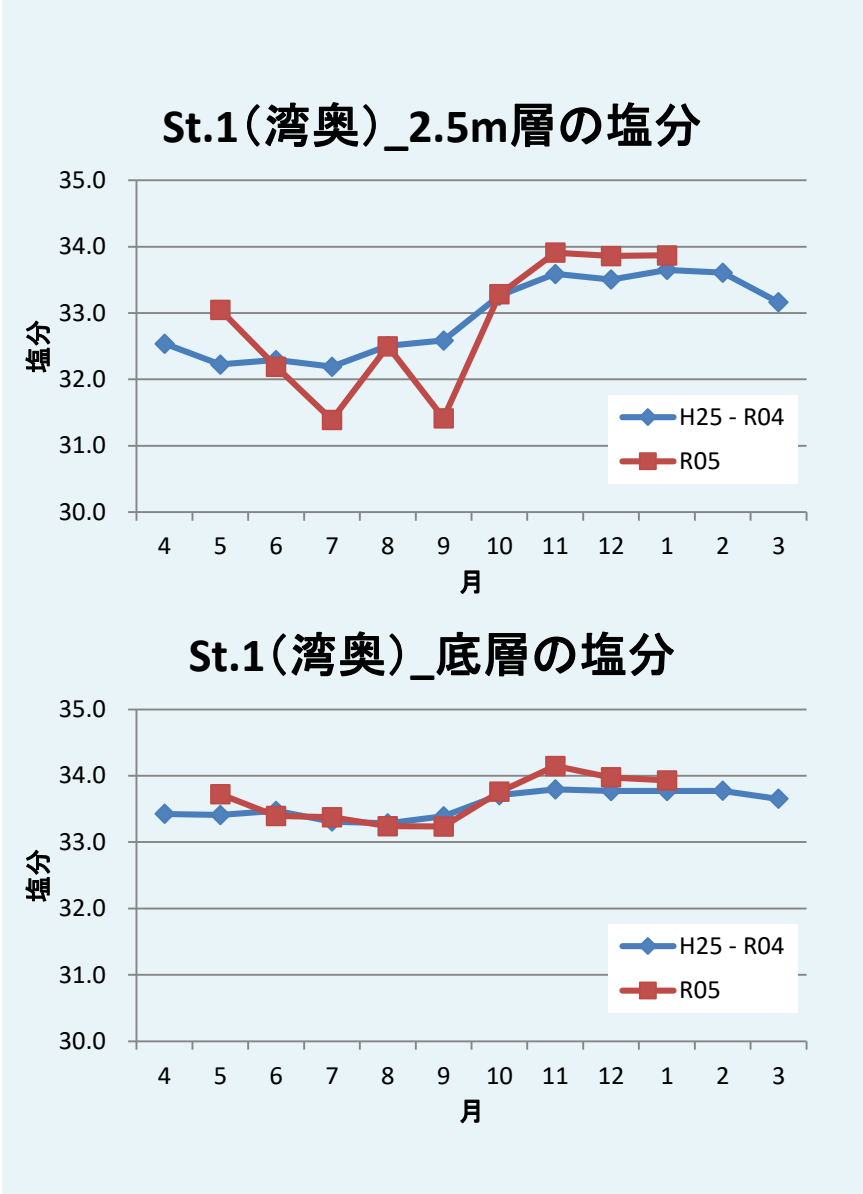


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満

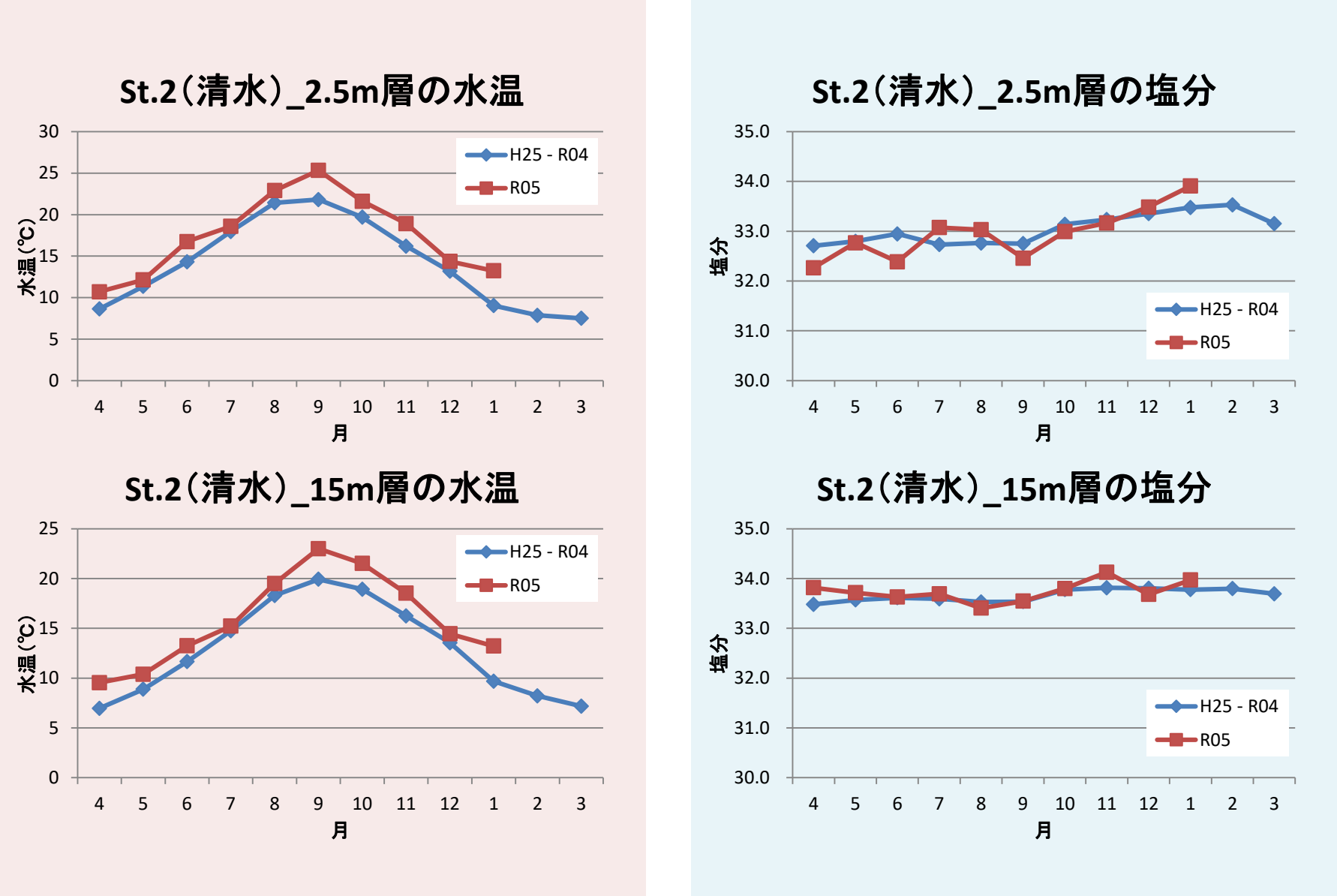


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

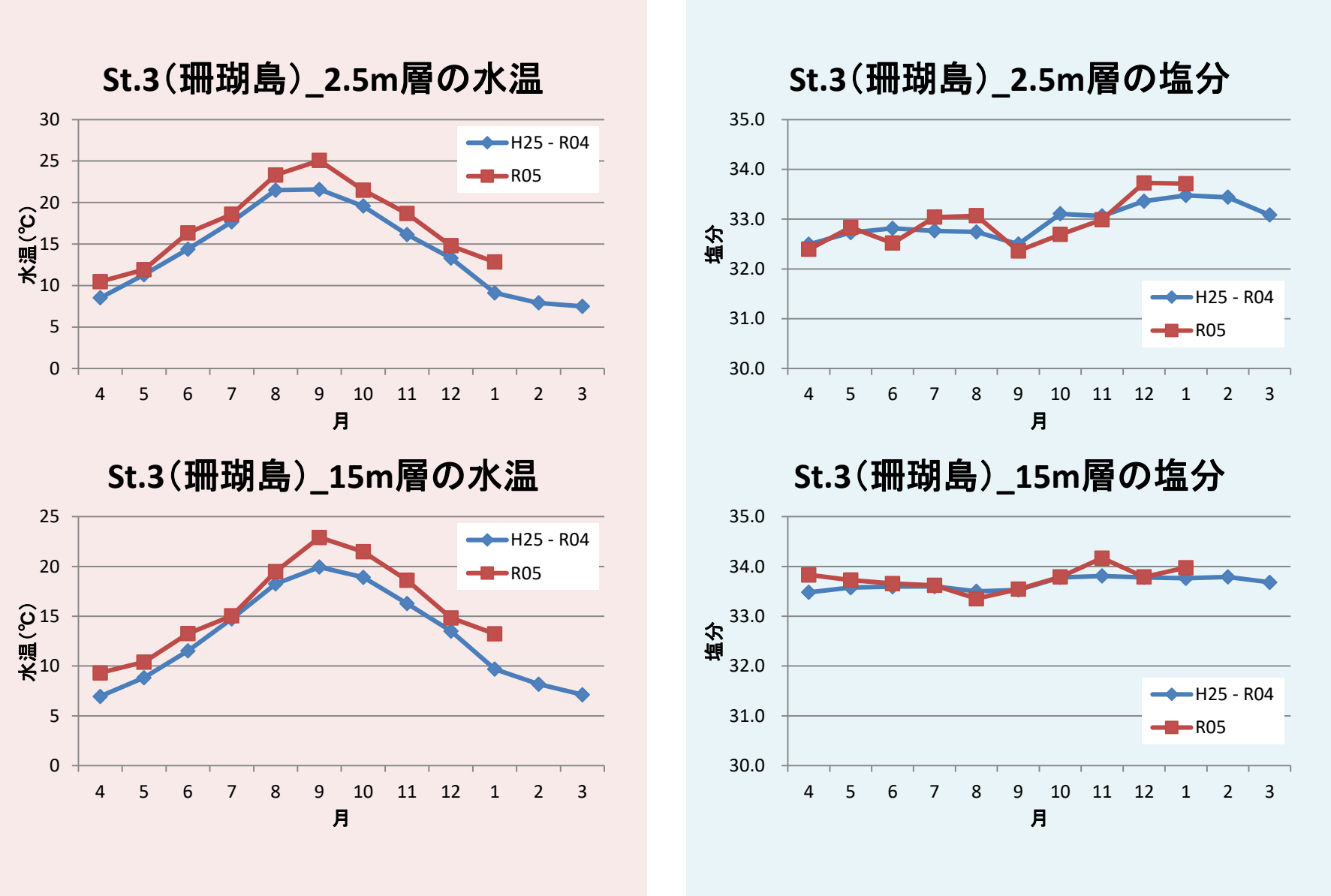
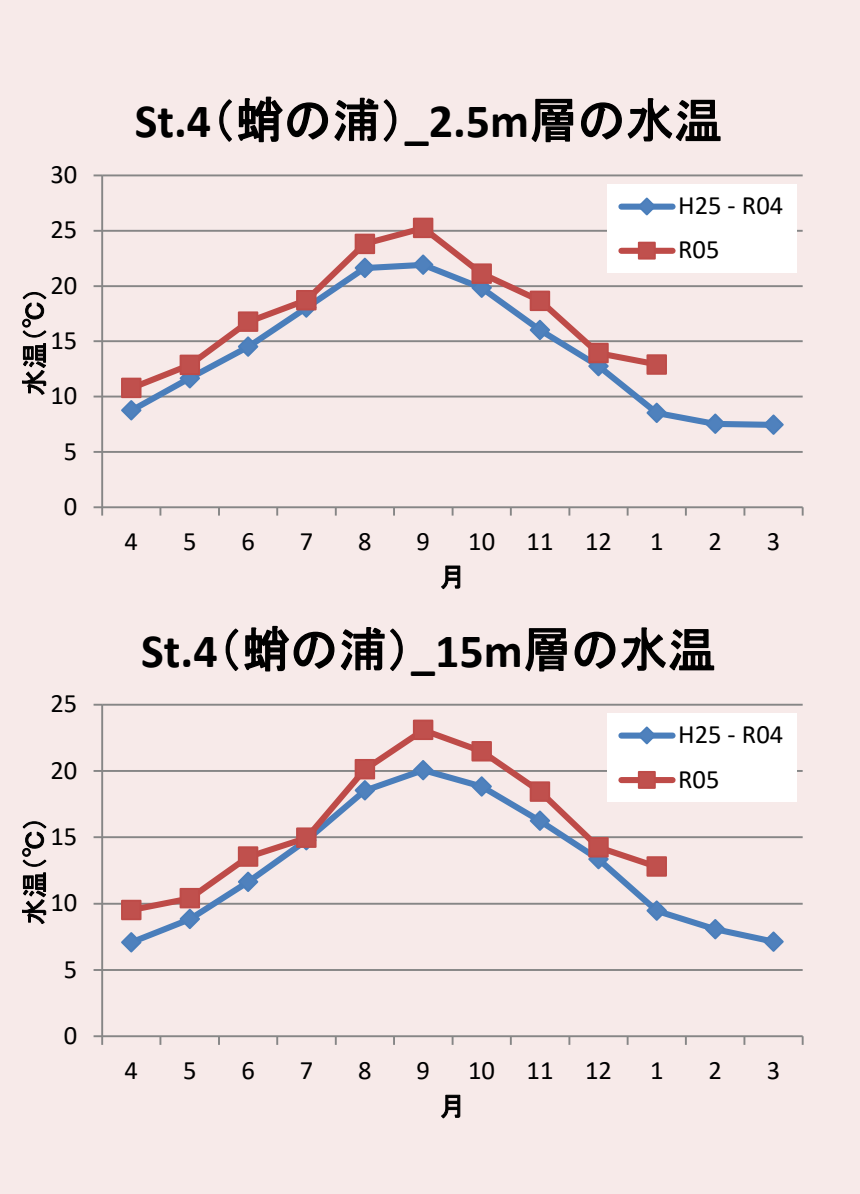


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



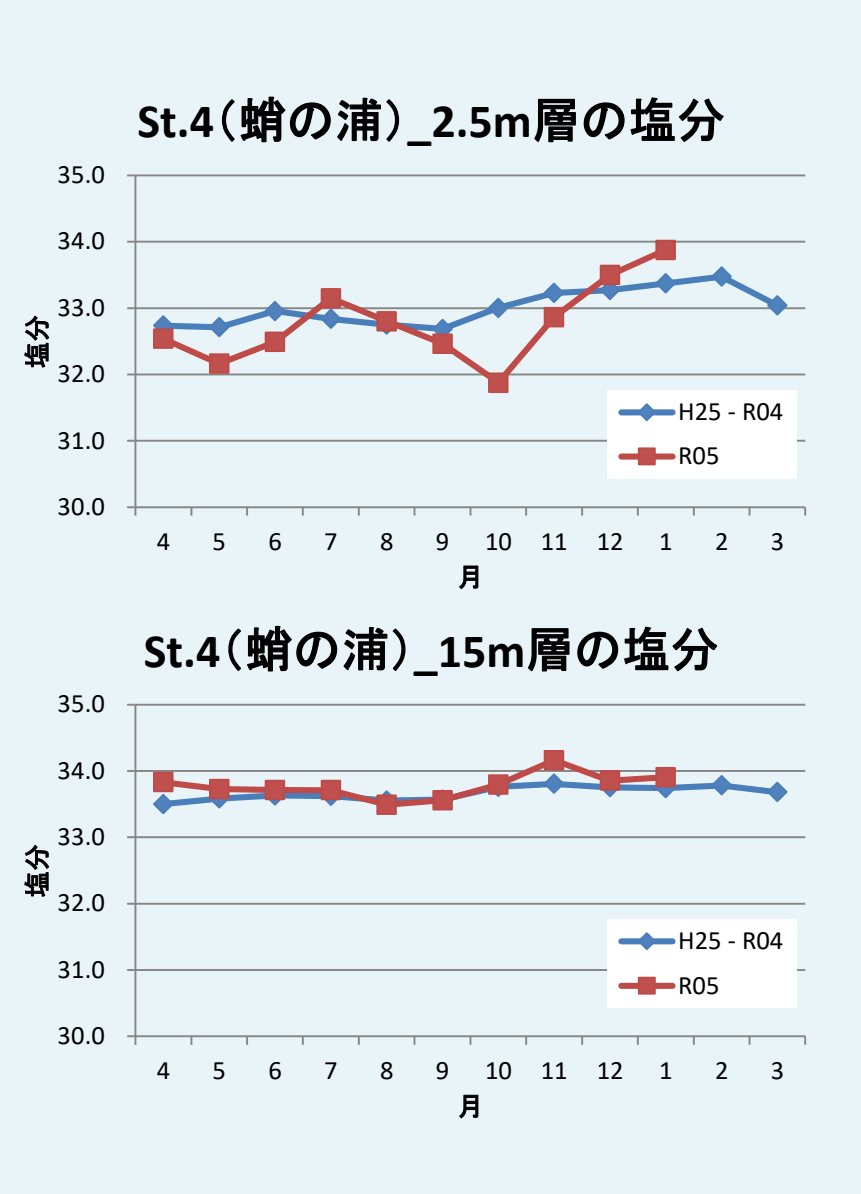
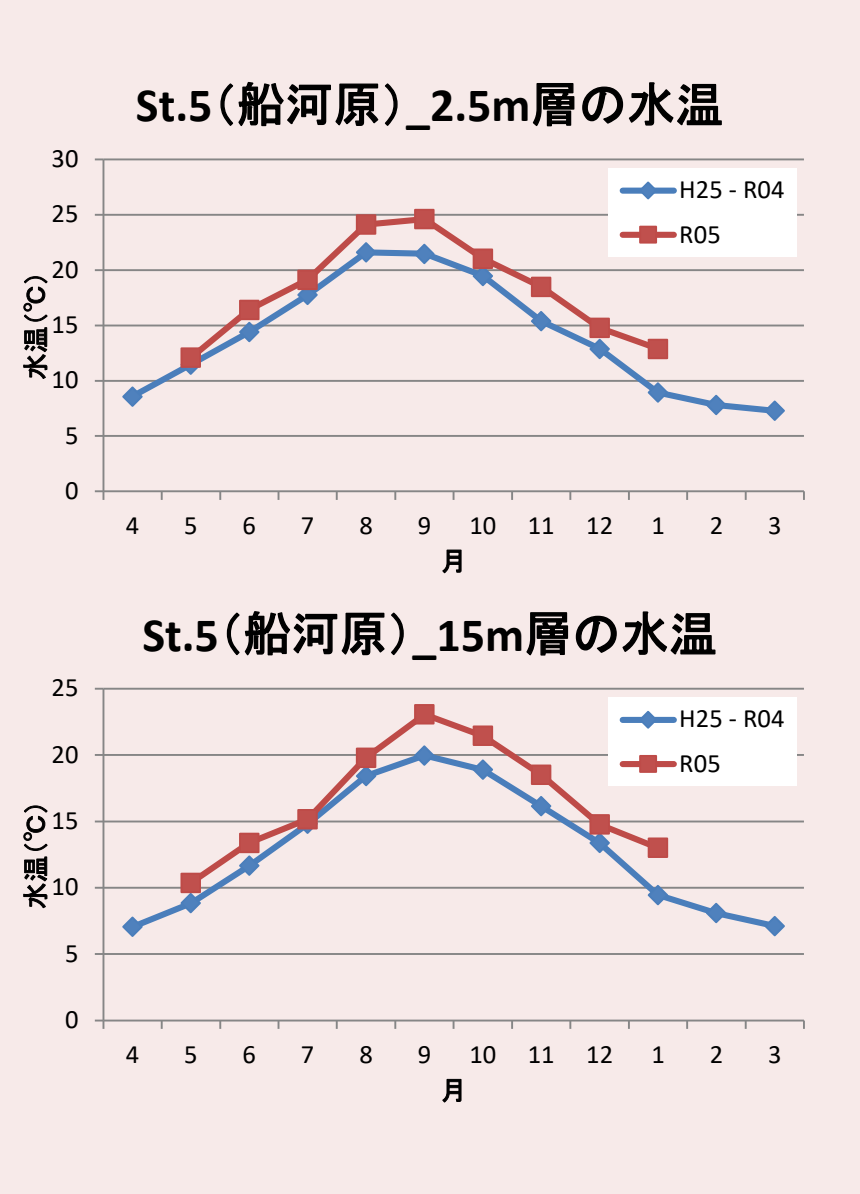


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移



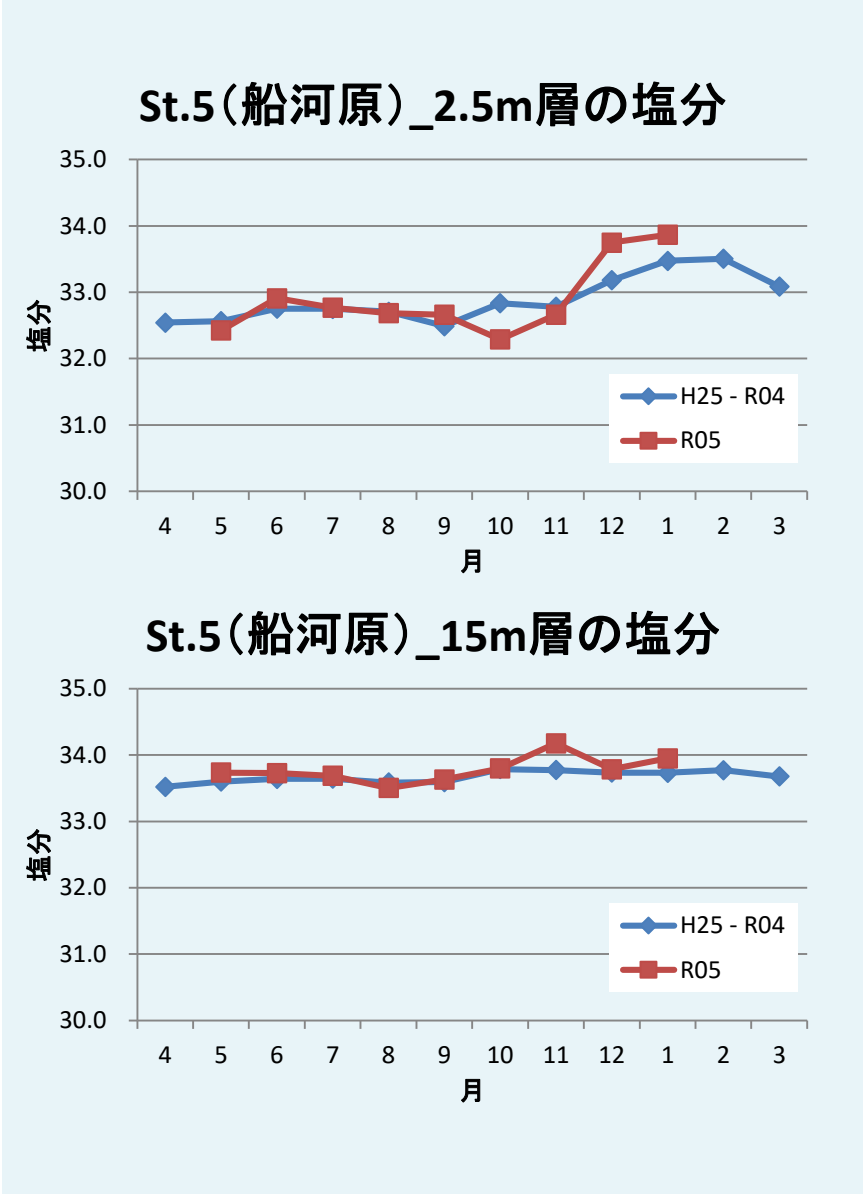


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移

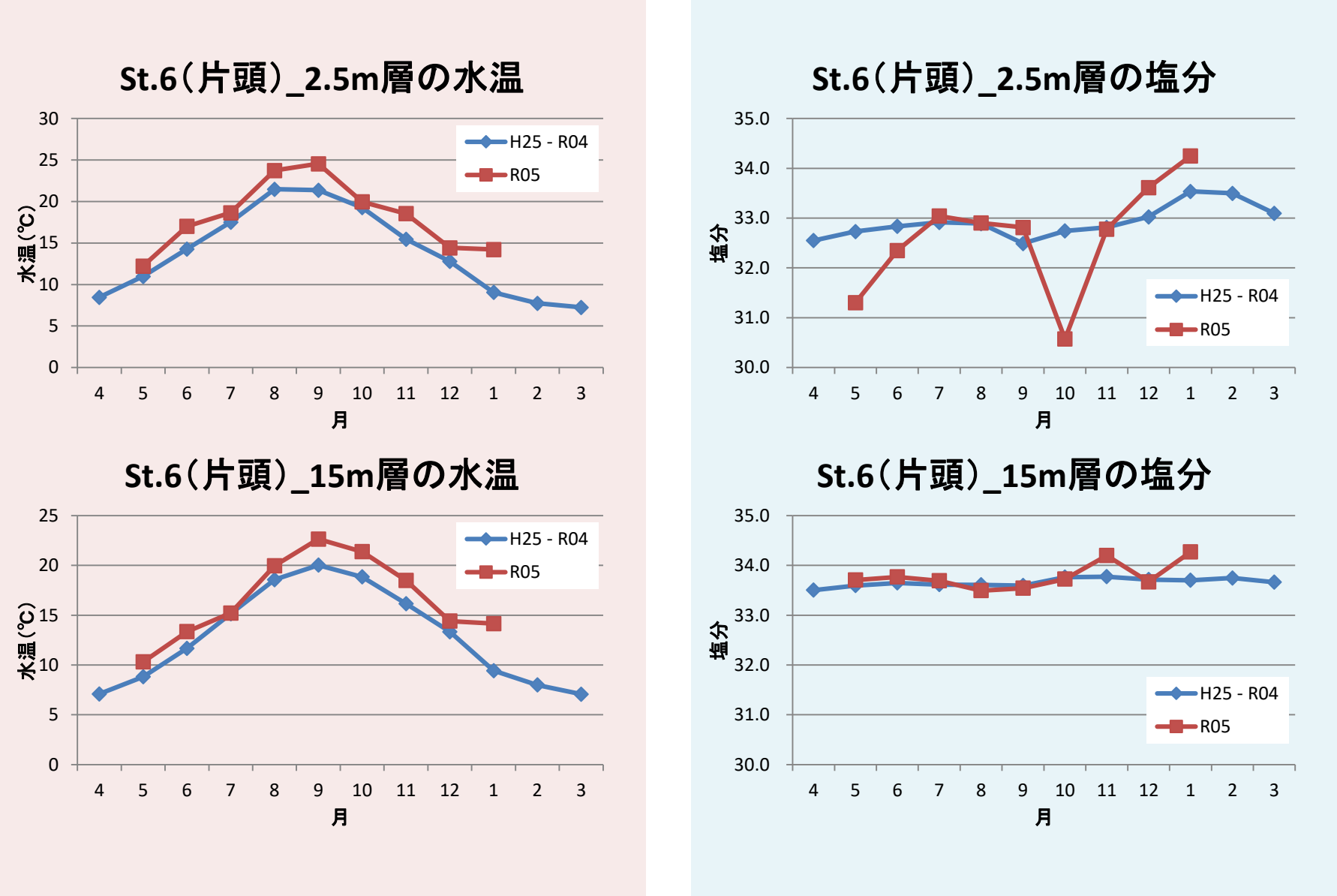
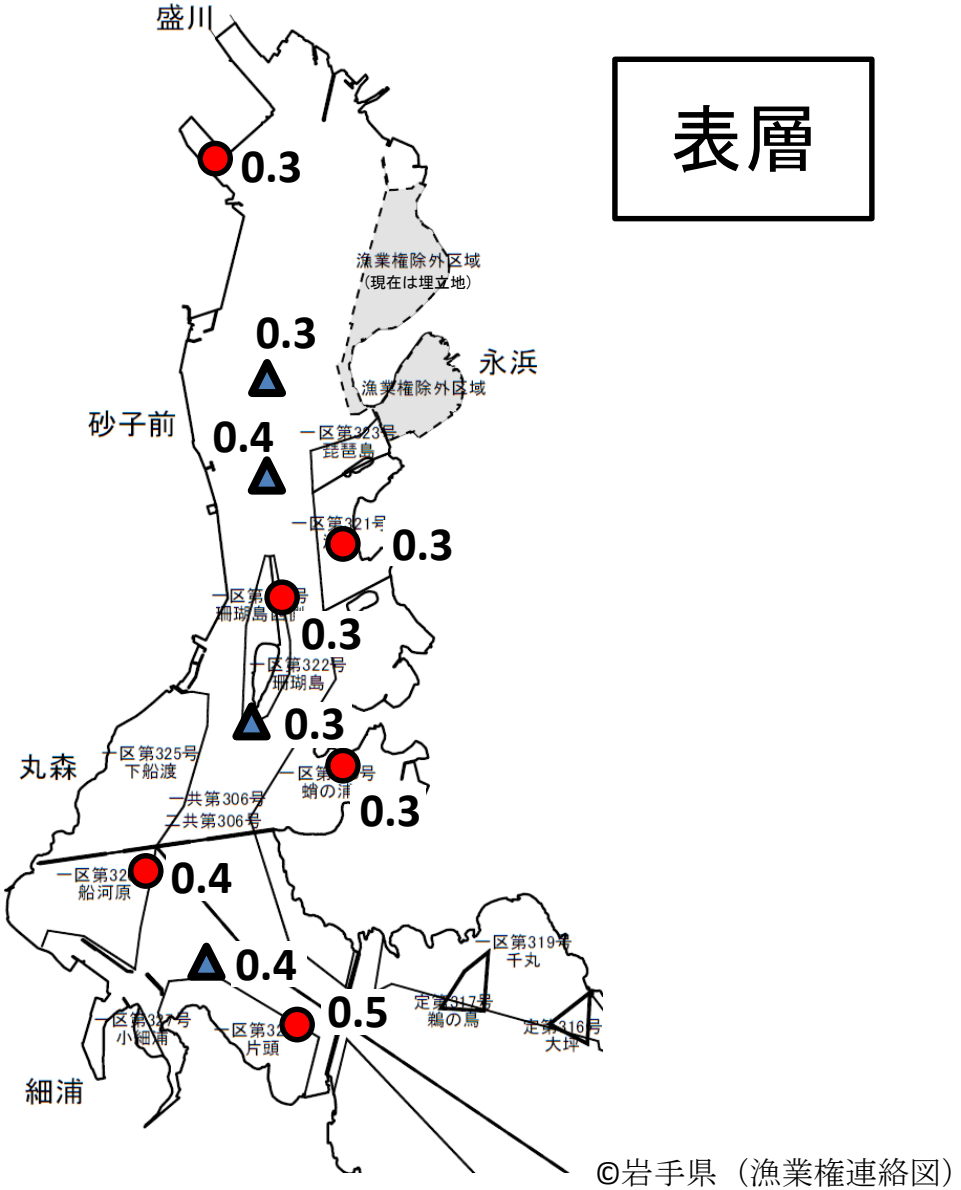


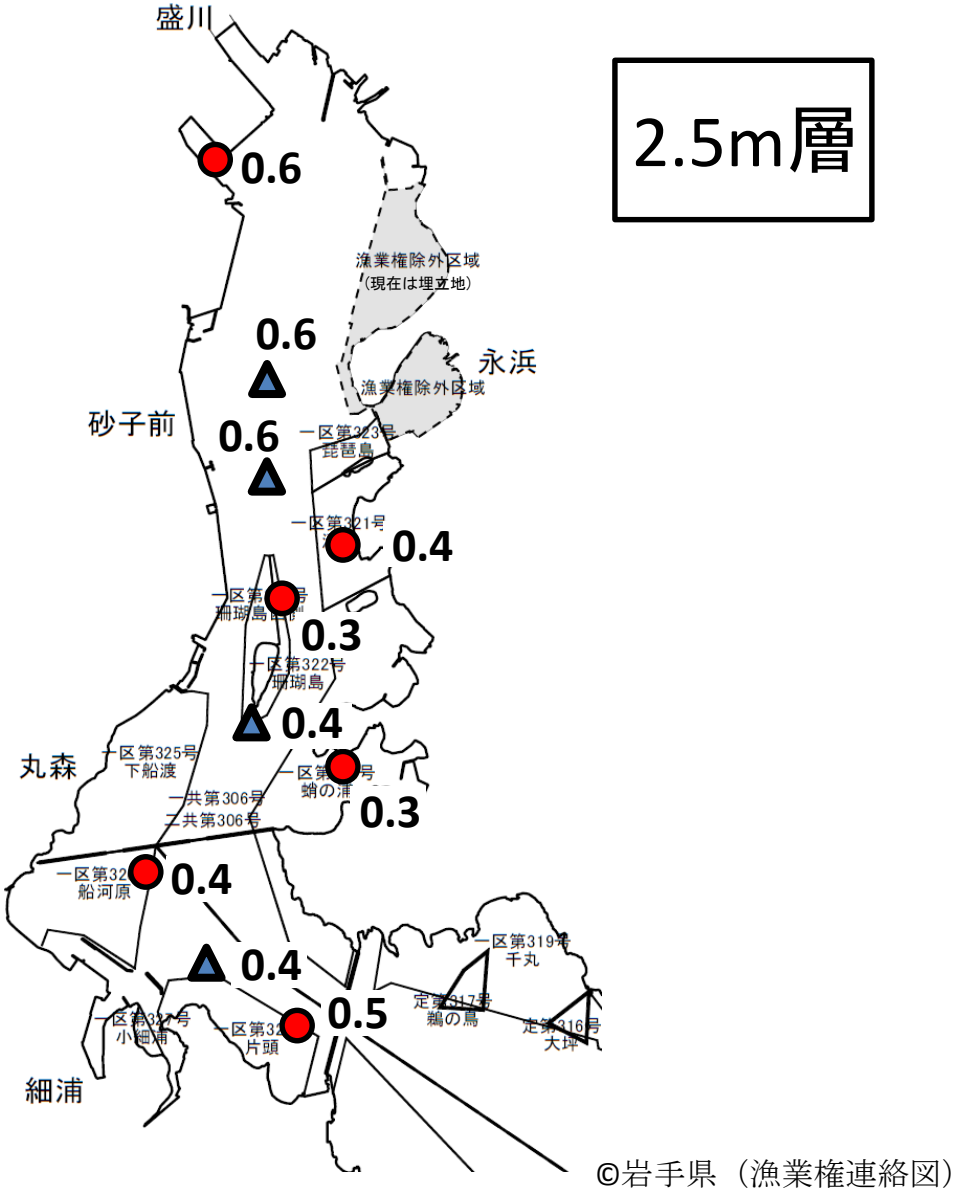
図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図9　表層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図10　2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

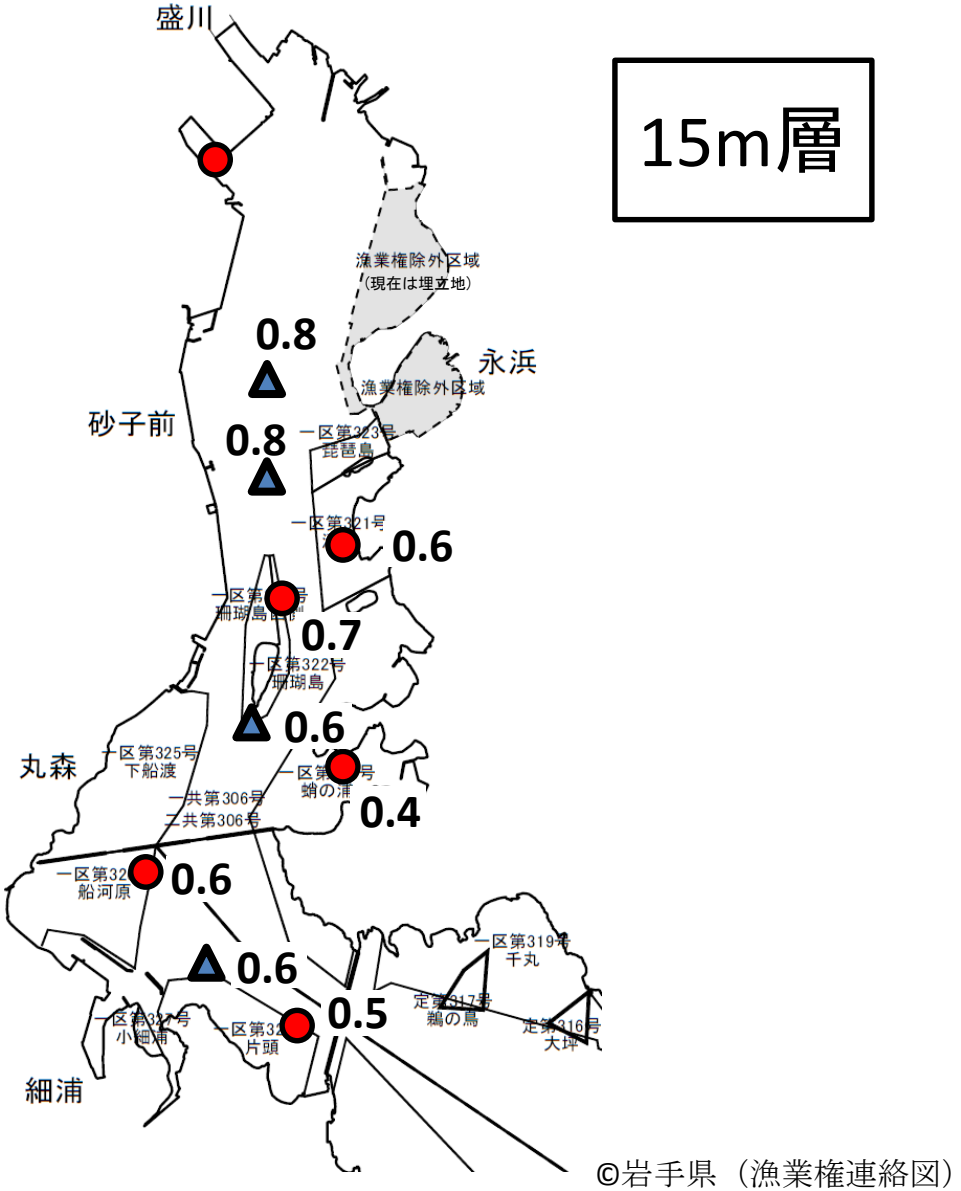


図11　15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。